

2025.1.27

群馬

# 県退教通信

発行責任者 北爪 俊男

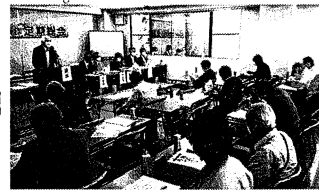
## 県退教総会を開催

### 北爪新会長を選出 「教え子を再び戦場に送るな」

群馬県退職教職員協議会は、第五〇回定期総会を、六月三日(月)に群馬県立学校生協会館で開催した。総会参加者は高齢者のため、昨年より引き続き代議員数を規約上の最低人数の代議員で実施した。参加者は代議員、各種役員を合わせて三九名だった。県退教は、活発な意見交換を経てすべての報告・提案を承認し、今年度のスタートを切った。また、総会に引き続き、梅澤晋さん(前橋支部)を講師に記念講演会「コンビニの経営に開いて」を行った。



挨拶をする日退教竹田会長



講演する梅澤晋さん

### 引き続き「仲間づくりが大切」

松本副会長(碓氷)が成立確認、開会あいさつを行い、総会を開始した。はじめに物故者の「御霊」に黙祷。昨年度は十八名の方が亡くなった。真下運営委員(太田)指揮により、国民歌「緑の山河」を斉唱した。つづいて小倉会長(甘楽)は、現政権の軍事大国化を憂い、国民が政治に関心を持って立ち上がるしかないことを訴えた。ご来賓の日退教竹田邦明会長、県教組小濱一博委員長、退女教齊藤光枝会長、県退連北爪俊男会長、学校生協高木忠一理事長、中央労金より挨拶をうけた。

今年八名の会員が米寿、三名が喜寿を迎えた。小倉会長が氏名紹介、記念品贈呈を行った。

すべての報告・提案を承認

高須代議員(桐生)を議長に選出し、報告事項の審議を開始した。まず、活動・決算・監査報告を本部が提案した。甘楽支部市川顧問より、五〇周年記念行事で能登半島地震の義援金を石川退教に送ったこと、群馬の森の朝鮮人追悼碑の撤去、会員の拡大について発言があった。本部の答弁のあと、採決を行って全員の拍手で承認。

## 北爪新会長

### 「民主教育・民主国家の実現」と人生を楽しむことを



(会長就任に当たって)

六月の定期総会で会長に選出された北爪俊男です。太田支部に所属し、伊勢崎市に在住しています。満七六歳、団塊の世代の一人です。「群馬県退職教職員協議会」という名称の通り私は退職した教職員の団体です。従って退職しても教育に関わる必要があるでしょう。私たちは現職と連携しながら、現職の時と同様に、教育の民主化と民主国家の建設のために団結し、活動しなければなりません。

すなわち、政治・選挙・社会・平和運動を引き続き行いましょう。体力的には衰えても、今まで培った気力でもって、時間的余裕を活用して、活動しようではありませんか。

## 県退教「ランドゴルフ」大会

二〇二四年度県退教ランドゴルフ大会(全国退職教職員生きがい支援協共催)を実施した。東毛大会は、十月二日(月)太田市利根ランドゴルフ場、中毛大会は十一月五日(火)吉岡町緑地運動公園「ランドゴルフ場」、西毛大会は九日(土)富岡もみじ平ランドゴルフ場で開催。東毛大会七名、中毛大会九名、西毛大会十三名の計二九名が参加した。

続いて議事。今年度は役員の変更時期になるので、役員選出案、活動方針案(含、スローガン)、予算案、規約の改正、その他を本部が提案した。太田支部真下運営委員より、会員の拡大について、前橋支部鎌田運営委員より市長選での取り組みについて発言があった。本部の答弁の後、全員の拍手で採択された。その後、真下運営委員(太田)が総会宣言を読み上げ、全員の拍手で採択した。

引き続き、議長退任、日教組合唱斉唱。最後に、北爪新会長の発声で「がんばらう三唱」して、閉会した。

また、生活や趣味を現職の時以上に楽しむにはありませんか。経済的余裕はともかく、時間的・精神的余裕があるのだから、現職の時にあまりできなかったことを積極的に取り入れよう。前述の運動や活動をするためには、心身の健康が前提でしよう。自分自身で編み出した健康法を実践し、健康寿命を延ばしましょう。何歳になっても充実した日々を送るうではありませんか。県退教と各支部の発展を一緒にやっていこう。

会員の皆さんのご健康・ご長寿・ご多幸及びご活躍を祈念して、会長就任の挨拶といたします。

## 2024 県退協囲碁交流会



碓氷支部一、前橋支部一、ほかに役員三名だった。

今年も甘楽支部にお世話になって、十一月十一日の月曜日に甘楽教育会館で実施した。

参加者は甘楽支部八名、前橋支部一名、碓氷支部一名、ほかに役員三名だった。

## (全国退職教職員生きがい支援協共催)

### 「講演概要」

小選挙区制は本来、二大政党制により政権交代を容易にする目的で導入された。しかし現実には投票率が低く、死票の多いため有権者の四分の一程度の「盤石支持層」があれば、国会で圧倒的多数の議席を確保できる。そうした小選挙区制を最大限利用し、一強支配を実現したのが安倍政権だった。また政治家によるSNS発信が広がって、マスメディアを軽視するようになった。記者会見も事前に質問内容を提出させるようになり、政権を監視するメディアの力が弱まっている。では、私たちは何をすべきなのか。まずは借り物のスローガンや常套句ではなく、自分自身の言葉を探して発信していくことだ。自分の感受性を守り、言葉の力を信じて、今ここにはない社会、未来を探していきたい。

尾島利根ランドゴルフ場で七名が参加して実施。盛り上がりがあったところ、あまり整備されていないう芝生だつたり、難コースに苦戦しながらも和気あいあいとしみながらボールを打っていた。

優勝は邑楽支部の小貫郁夫さん。三ラウンド二四ホールで六五だった。インワンを六人が一回ずつ出す結果となった。



東毛大気の参加者

十一月五日(火)吉岡町緑地運動公園のランドゴルフ場で恒例の県退教グラウンドゴルフ中毛大会が開催された。運営事務局は北群馬支部が主管した。優勝は野中笑子さん、準優勝は一点差で梅澤一久さん、三位に県退教会長の北爪俊男が入った。反省点としては、年々参加者の減少が続いていること、今年もエントリーが十一名(二名は棄権)だった。高齢化が進んでいることあるだろうが、会員の積極的な参加、とりわけ六〇代七〇代の人たちの積極的な参加が望まれる。

集合時刻が急遽早まり小倉氏の挨拶で朝八時の開会。五、六名の四班で練習を八ホールした後、本番の二ラウンド十六ホールを行った。

参加者は甘楽支部五名、碓氷支部六名、前橋支部一名、桐生支部一名、退教連その他、退教連甘楽富岡支部の男女十名も共にコースを回り交流をはかった。

優勝者は前橋支部の角田正さんだった。用具も貸し出され、賞品も参加賞とあまり差がなく、

## 積極的な参加を「中毛大会」

十一月五日(火)吉岡町緑地運動公園のランドゴルフ場で恒例の県退教グラウンドゴルフ中毛大会が開催された。運営事務局は北群馬支部が主管した。優勝は野中笑子さん、準優勝は一点差で梅澤一久さん、三位に県退教会長の北爪俊男が入った。反省点としては、年々参加者の減少が続いていること、今年もエントリーが十一名(二名は棄権)だった。高齢化が進んでいることあるだろうが、会員の積極的な参加、とりわけ六〇代七〇代の人たちの積極的な参加が望まれる。